

(販売店・工事店様へ) 取扱説明書は必ずお客様にお渡しください

センサライト

センサ付照明器具

ナイツキャン



取扱説明書

型式 LA-1S

取付例



壁付け



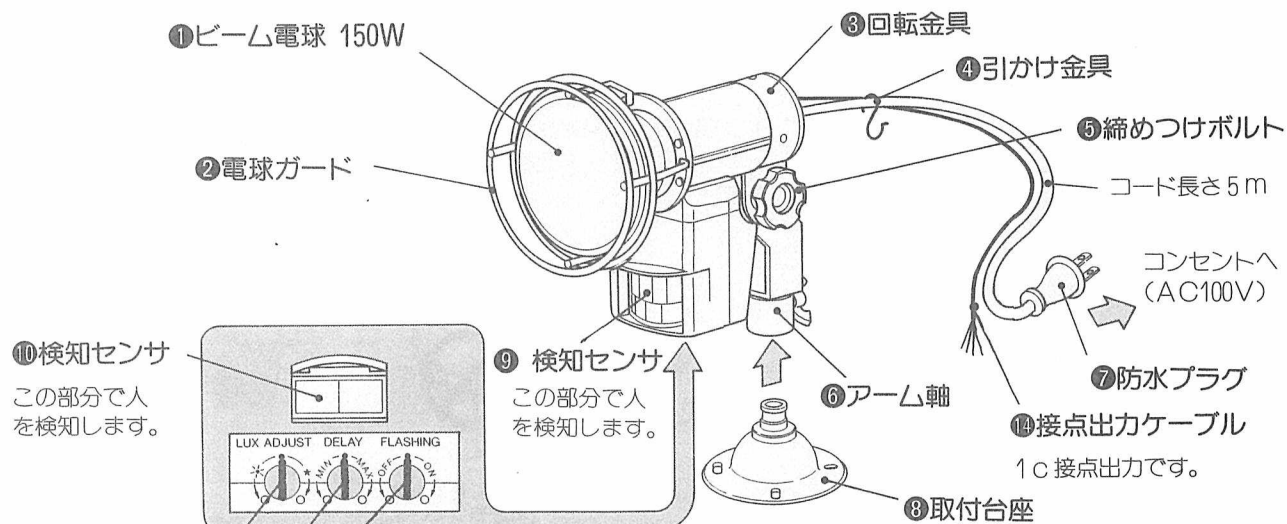
吊下げ

安全にお使いになるためのご注意

- ・ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ・お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

●ご使用になる前に必ずお読みください。

1 各部の名称とはたらき



⑪フラッシング切換ボリューム

- Ⓐ 通常の点灯を行う場合はボリュームを左いっぱい(図a)まで回します。
- Ⓑ 点滅(フラッシング)を行う場合は、図a以外の位置にセットします。

⑫点灯時間可変ボリューム

約5秒～10分の間で点灯もしくは点滅(フラッシング)時間を調整することができます。(中点で約5分です。)

⑬照度センサ感度調整ボリューム(通常は中点で使用します。)

- Ⓐ 左いっぱいに戻すと昼、夜関係なく点灯します。それ以外の位置ですと、周囲の明るさに応じて点灯タイミングを調整できます。(300lx～20lx 可変)

安全上のご注意

絵表示について 本書の表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。よく理解してから本文をお読みください。

 警告	この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	 注意	この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が負傷する可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
--	---	---	---

絵表示の例



△記号は注意（警告を含む）が必要な内容を告げるものです。図の中には具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。



⊘記号は禁止を表します。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中には具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています

 警告		
電球交換・お手入れ時は電源を切る	電球交換、お手入れは電源を切り、電球が冷えてから（消灯してから約3分後）おこなってください。感電・やけどの原因となります。	
異常時は電源を切る	万一煙が出たり、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに電源を切り、販売店・工事店に連絡してください。	
本体を分解・改造しない	お客様による本体の分解・改造は危険ですからおやめください。火災・感電の原因となります。	
燃えやすい物の付近で使用しない	布や紙など燃えやすい物を本体の近くに置いたり、かぶせたりしないでください。火災の原因となります。	
交流100V以外で使用しない	電源は必ず交流（AC）100Vで使用してください。火災・感電の原因となります。	
電源プラグ・コードを傷つけない	- 次のようなことは電源コードの破損につながりますのでしないでください。火災・感電の原因となります。 （傷つける、無理に曲げる、引っ張る、ねじる、たばねる、重い物を載せる） - 電源プラグの加工・切断などの配線工事をお客様自身でおこなわないでください。配線工事が必要な場合は、販売店・工事店に相談してください。	

2 設置の方法 (例、横付けで暗くなってから動作させたい)

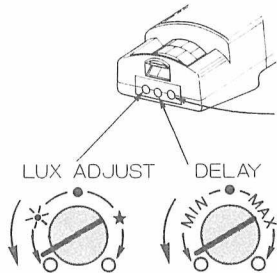
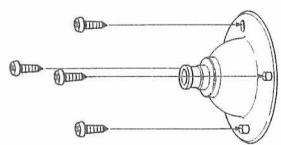
①④取付台座を固定します。

②本体底にある⑫点灯時間可変ボリューム、⑬照度センサ感度調整ボリュームを左に回します。

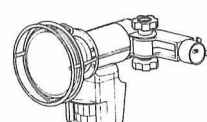
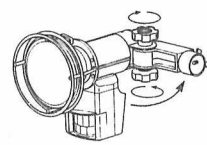
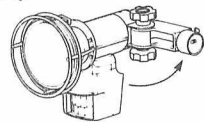
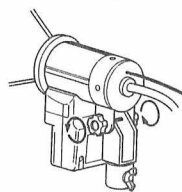
③⑤締めつけボルトをゆるめ、⑥回転金具を回します。

④⑤締めつけボルトを軽くしめ、⑥アーム軸を⑧取付万力または⑭取付台座に固定します。

(LA-1Pの取付角度を調整したい場合は、「6 アーム軸の付け換え」のような方法もあります。)



⑪フラッシング切換ボリュームはどの位置でもかまいません。



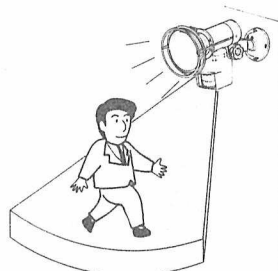
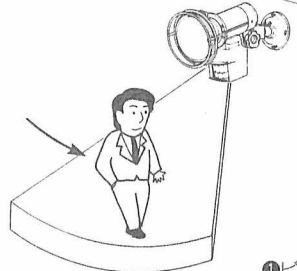
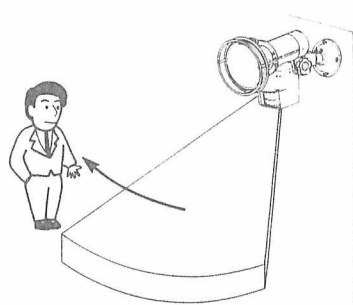
⑦検知エリアからはなれ、①ビーム電球が消灯するのを待ちます。(検知エリアをはなれてから約5秒で消灯します。)

⑧ゆっくりと検知エリアに入ります。

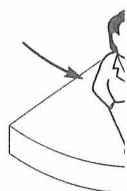
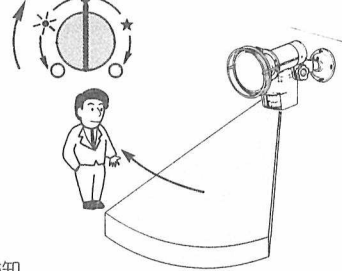
⑨①ビーム電球が点灯もしくは点滅(フラッシング)すれば動作しています。

⑩⑬照度センサ感度調整ボリュームを中点にし、検知エリアからはなれ①ビーム電球が消灯するのを待ちます。

⑪もう一度検知エリアに入ります。



LUX ADJUST

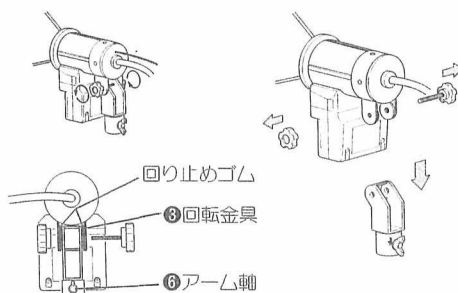


①ビーム電球が点灯しない場合は、⑨、⑩検知センサが違う所を見ているか、①ビーム電球がゆるんでいます。再度調整し直すが、電球をしめてください。

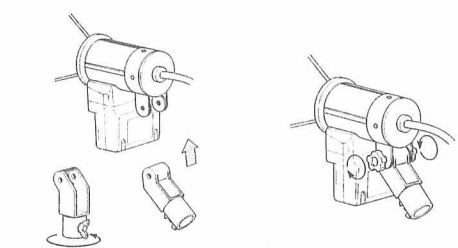
6 アーム軸の付け換え

たとえば壁などに取付けたときに、本体をもっと上に向けたいのにアーム軸が本体に当たっても動かないといった場合にはアーム軸を付け直してください。

①④締めつけボルトをはずし、⑥アーム軸をはずしてください。③回転金具、⑥アーム軸の間に回り止めゴムがはさんでいます。なくさないようにしてください。



②⑥アーム軸を逆向きに取付けて、④締めつけボルトを軽くしめてください。回り止めゴムを付け忘れないが確認してください。

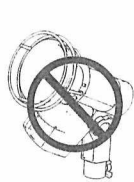


※アーム軸を付け換えたあとは「2. 設置の方法」④～⑥を参照して設置してください。

7 ご注意ください

⚠ 注意

下図の設置は絶対にしないでください。雨水などが入り故障、漏電の原因となります。



上向き



正面から見て検知センサが傾いている。

指定のビーム電球以外は使用しないでください。指定以外の電球を使用すると火災の原因となります。



指定電球

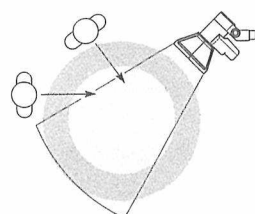
(口金径 E 26
消費電力 150W)

1. 検知センサは、下図のように設置すると近くまでこないと検知しない場合があります。

・検知センサに対して真正面から入る。



・検知センサに対しては横か斜めから入るように設置してください。

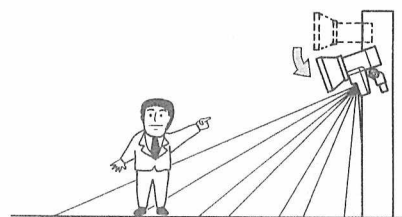
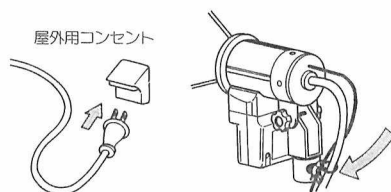


2. ⑦で滅

4. 本機は... リュー... 関係ない... (フラ

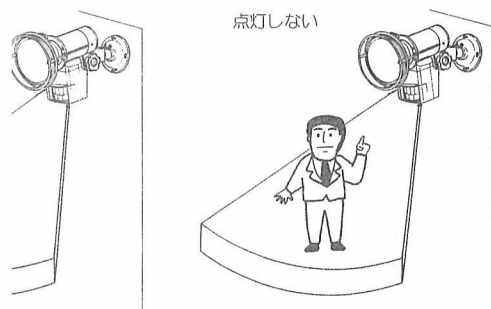
⑤「4 検知エリア」を参照しながら方向・角度を決定したのち、⑥アーム軸、⑤締めつけボルトをしっかりと締めつけます。(検知エリアの調整は「7」ご注意ください)を参照してください。)

⑥④引かけ金具を、⑥アーム軸のネジに取り付け、⑦防水プラグをコンセントに差込みます。(2~3秒後点灯もしくは点滅(フラッシング)します。)

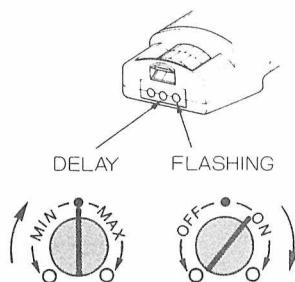


エリアに入り ⑫ビーム電球が点灯もしくは点滅(フラッシング)しなければ設置完了です。

⑬⑪フラッシング切換ボリューム⑫点灯時間可変ボリュームをお好みの位置に調整します。



※⑪ビーム電球が点灯するようでしたら⑬照度センサ感度調整ボリュームを少し右へ回し、⑩、⑪、⑫をもう一度行ってください。



例) 人を検知したら約5分間点滅(フラッシング)させたいとき

3 ⑬照度センサ感度調整ボリューム

周囲がもっと暗くなってから動作させたい、もっと明るいうちから動作しはじめてほしい、など場所や希望に応じて、動作開始照度が調整できるようになっています。

①通常のボリューム位置

- ・昼夜関係なく動作させたいとき (左いっぱい回して)
- ・周囲が暗くなってから動作させたいとき (中点に合わせてください)

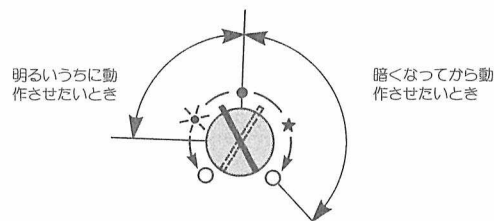
LUX ADJUST

LUX ADJUST



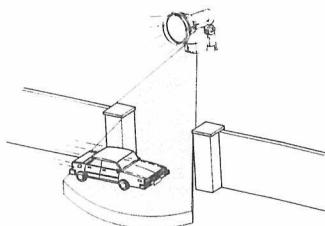
②調整が必要な時

- ・周囲がもっと明るいうちに動作させたい時 (左へ回すほど明るいうちから動作します。)
- ・周囲がもっと暗くなってから動作させたい時 (右へ回すほど周囲が暗くなってから動作します。)

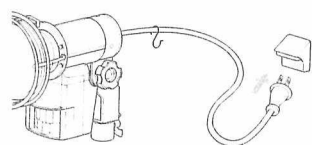


プラグをコンセントに差し込み、2~3秒してから検知センサなく⑫点灯時間可変ボリュームトした時間だけ点灯もしくは点滅(フラッシング)します。

3. 犬、猫などの小動物や草なども検知してしまう場合があります。



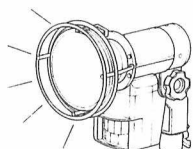
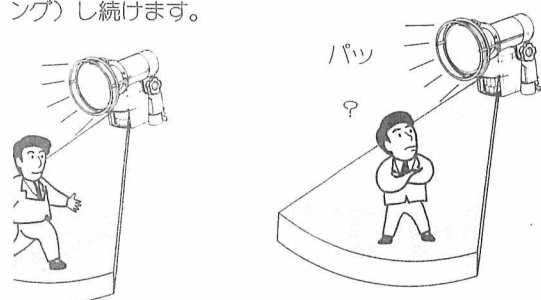
図のように検知エリアがもれていると思いがけなく遠くのものを検知する場合があります。必ず壁面、地面を見させてください。



ノータイマになった⑫点灯時間可変ボリュームでセットした時間に検知エリア内で動作点灯もしくは点滅(フラッシング)し続けます。

5. ⑫点灯時間可変ボリュームでセットした時間に関係なく1~2秒ぐらい点灯する場合がありますが、故障ではありません。

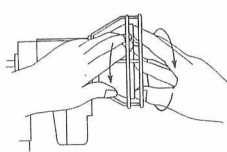
6. 点滅(フラッシング)スピードは最初の5秒間は遅く、後に早くなります。



最初1.5Hz、後に3Hzになります。

8 電球の交換方法

下図のようにするとはずれやすくなります。

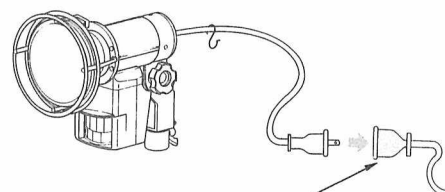


⚠ 注意

- ・電球交換は電源プラグをコンセントから抜いてからおこなってください。感電の原因となります。
- ・また、電球交換は電球が冷えてから(消灯してから約3分後)おこなってください。やけどの原因となります。

9 コードの延長について

コードを延長する場合は、下記の防水コネクタをご使用になってください。



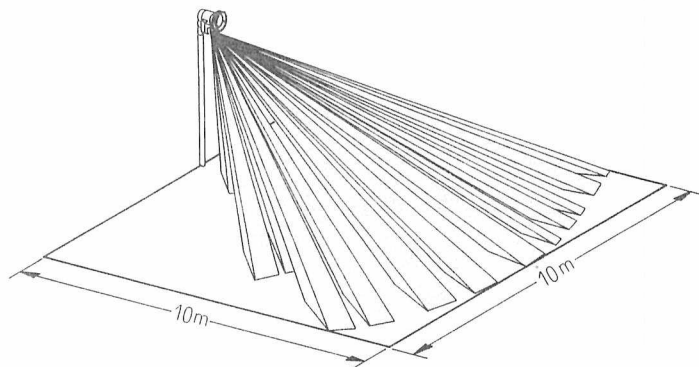
防水コネクタ
(明工社製 MC2608)

4 検知エリア

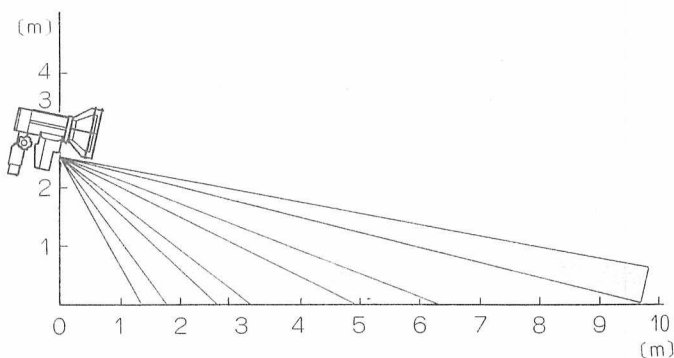
⑨⑩検知センサは常に下図の範囲を見ています。人がこの中を動くとライトが点灯します。

〔ご注意〕

この商品は、検知エリア内に入ったときの温度変化を検知する方式です。周囲の温度によって検知距離が短くなったり長くなったりすることがあります。



側面図 (2.5m取付時)



5 接点出力ケーブル

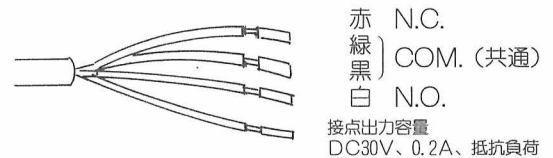
検知センサから検知信号を接点出力ケーブルにより取り出しています。

※接点出力ケーブルの検知出力はワンショット出力で約2秒間出力されます。また周囲照度に関わらず出力されます。

⑪点灯時間可変ボリューム⑫照度センサ感度調整ボリューム等での可変はできません。

※接点出力は機械警備用では有りません。

※接点出力は1Cです。COMの緑と黒は内部で接続されていますのでN.O.、N.C.の同時使用は避けてください。



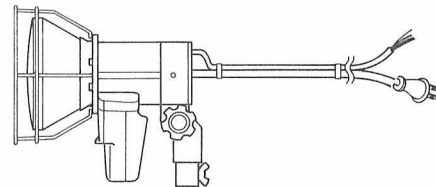
接点出力容量
DC30V、0.2A、抵抗負荷

⚠ 注意

接点出力に定格以上の電圧や電流の機器を接続しないでください。火災の原因となります。

●信号線の結束方法について

下図に示すように⑪接続出力ケーブルと⑦電源線を添付の結束バンドにて30cm間隔で結束してください。



10 異常時の点検について

1. 電源を入れても①ビーム電球が点灯しない。

①ビーム電球がゆるんでいる、もしくは切れている。
⑫照度センサ感度調整ボリュームが★の方になっている。

①ビーム電球をしめるか交換してください。
⑫照度センサ感度調整ボリュームを★の方へいっぱい回してください。

2. 時々点灯しない。

検知エリアの調整が不適当である。

検知エリアを調整してください。

3. 人が通らないのに点灯する。

検知エリア内に動くものがある。小動物を検知している。10m以上先の人、車などを検知している。

動くものを取り除いてください。検知エリアの設定を変更してください。

11 仕様

名 称	ナイトスキャン
型 式	LA-1S
検 知 方 式	パッシブ・インフラッド方式
検 知 エ リ ア	10m×10m (検知エリア図参照)
使 用 電 球	ビーム電球150W
調整ボリューム (ビーム電球用)	フラッシング切換ボリューム OFF 通常点灯 ON 点滅(フラッシング)点灯 点灯時間調整ボリューム 約5秒～10分可変 照度センサ感度調整ボリューム テスト用モード、20～300lx可変モード
出 力 接 点	DC30V 0.2A 抵抗負荷 1C接点
接点出力時間	約2秒
電 源 電 圧	AC100V ±15%
消 費 電 力	待機時2W以下 動作時152W
使用温度範囲	−20℃～+50℃
設 置 場 所	屋内・屋外(防雨構造)
電源コード長さ	5m
付 属 品	取付台座1個 取付ビス4個 結束バンド

※仕様はおことわりなしに変更する場合があります。

⚠ 注 意

乳幼児の触らない位置に取付ける	点灯中や消灯直後は電球およびその付近が熱くなりますので、不用意に触れない位置に取付けてください。やけどの原因となります。特に乳幼児が触らないように注意してください。	⚠
接点出力の定格を守る	接点出力に定格以上の電圧や電流の機器を接続しないでください。火災の原因となります。	
雨がかかりにくい場所に取り付ける	本体は防雨構造ですが防水構造ではありません。軒下などの雨がかかりにくい場所に取り付けることをおすすめします。	
屋外用延長コードを使用する	屋外使用で電源コードを延長する場合は必ず屋外用（防水型）の延長コードを使用してください。その他のコードを使用すると、火災・感電の原因となります。	⚠
濡れた手で電源プラグを触らない	濡れた手で電源プラグに触らないでください。感電の原因となります。	⊞
電球はしっかりと口金に取り付ける	電球は口金にしっかりと取付けてください。無理に取り付けたり、ゆるんだ状態にしておくと、火災・感電の原因となります。	
電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らない	電源プラグをコンセントから抜くときは、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張ると、火災・感電の原因となります。	
指定電球以外使用しない	電球交換の際は、本体表示、取扱説明書にしたがって指定電球を使用してください。指定以外の電球を使用すると、火災の原因となります。	
本体はしっかりと固定する	本体の取付けは、取扱説明書にしたがって確実にこなってください。取付方法が不十分、取付場所が不安定ですと本体の落下によりけがややけどの原因となります。	
本体を無理に動かさない	本体を無理に動かさないでください。コードがねじれて断線するなどして、火災・故障の原因となります。	
本体取付・調整時には電源を切る	本体の取付方向、角度を調整する際には必ず電源を切ってください。感電・やけどの原因となります。	
定期的に清掃する	定期的に電源プラグ付近、電球付近のゴミやホコリをふき取ってください。火災の原因となることがあります。	⚠

お手入れ



感電の恐れあり

- 作業をするときは電源プラグをコンセントから抜くなどして電源を切ってください。
- 濡れた手で触らないでください。



汚れたら

本体の汚れはやわらかい布で乾拭きするか、中性洗剤をうすめた水でふき取ってください。決して水洗いはしないでください。



電球交換は

- 電球交換の際は、取扱説明書に記載の指定電球を使用してください。指定以外の電球を使用すると火災の原因となります。
- やけど防止のため、消灯後3分以上経過してから電球をはずしてください。

オプテックス株式会社

本社：〒520-0101

滋賀県大津市雄琴5丁目8番12号

TEL (077) 579-8630 FAX (077) 579-8170

東京営業所：〒160-0023

東京都新宿区西新宿 6-14-1 新宿グリーンタワービル19F

TEL (03) 3344-5775 FAX (03) 3344-5734